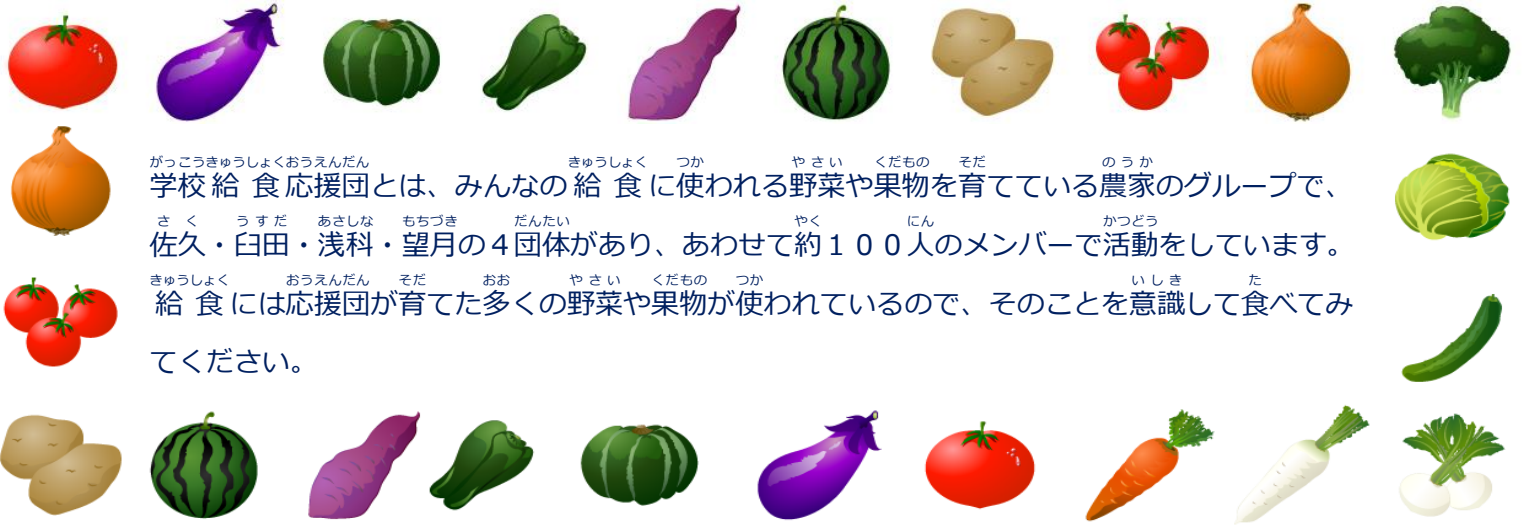


がっ こう きゅう しょく おう えん だん 学 校 給 食 応 援 団 だ よ り



がっこうきゅうしょくおうえんだん
学校給食応援団とは、みんなの給食に使われる野菜や果物を育てている農家のグループで、
さく うすだ あさしな もちづき だんたい やく にん かつどう
佐久・臼田・浅科・望月の4団体があり、あわせて約100人のメンバーで活動をしています。
きゅうしょく おうえんだん そだ おお やさい くだもの つか いしき た
給食には応援団が育てた多くの野菜や果物が使われているので、そのことを意識して食べてみ
てください。

◆ なんて冬でもおいしい野菜が食べられるの？ ◆

ふゆ さむ やさい そだ いちねんじゅう やさい た ふしぎ おち
冬って寒くて野菜が育ちにくそうなのに、なぜ一年中おいしい野菜を食べることができるのか、不思議に思ったことは
ありませんか。実は、みんなが学校へ行く途中などで一度は見たことがあるかもしれない
「ビニールハウス」で冬でも野菜を育てています！「ビニールハウス」は、晴れている日
であれば太陽の光だけでも十分暖かく、周りを囲まれているので暖かさが保たれます。
こんかい は やさい そだ うすだ さく しゅうきのうぎょうけんきゅう
今回は「ビニールハウス」でいろいろな野菜を育てている、臼田の佐久市有機農業研究
きょうぎかい い てのうじょうちょう はなし き
協議会の井出農場長にお話を聞いてきました！



なんしゅるい やさい そだ
Q：ここでは何種類の野菜を育てているんですか？



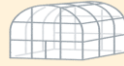
そら はものやさい やく しゅるいそだ なか あたた ふゆ しゅん やさいがい そだ
A：ほうれん草などの葉物野菜を約18種類育てています。ハウスの中は暖かいので、冬が旬の野菜以外も育て
ることができるんですよ。

たね しゅうかく
Q：種をまいてから収穫までだいたいどのくらいですか？



がっ たね かめ で やく げつ しゅうかく がっ さむ しき にち
A：10月に種をまくと3～4日で芽が出て、約1か月で収穫できます。1月などの寒い時期だと、10～15日
めで やく げつ しゅうかく なか にちゅうあたた たいよう しず よる さむ
で芽が出て、約2か月で収穫となります。ハウスの中は、日中暖かくなりますが、太陽が沈む夜は寒くなっ
てしまうので、寒い時期は収穫までに少し時間がかかってしまいます。

なか へいさんきおん なんだ
Q：ビニールハウスの中の平均気温は何度くらいですか？



ど たか どちか
A：だいたい15～20度くらいですが、高いときは30度近くになります。



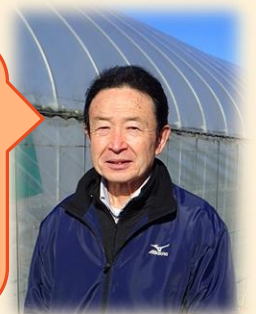
そと そだ そだ かた ちが
Q：外で育てるのと育て方の違いはありますか？



やね あめ
A：ビニールハウスは屋根がついているので、雨にあたらず、
かんそう まいにち みず
乾燥しやすいので、毎日お水をあげないといけません。
なか さむ あつ
また、ハウスの中が寒すぎたり暑すぎたりしてしまうの
ぬの おんど ちようせつ
で、布をかけてあげるなど温度の調節をしています。



いちど
みんなも一度
やさい そだ
野菜を育ててみて、
そだ わずか
育てる難しさや
しゅうかく よろこ かん
収穫の喜びを感じて
うれ
もらえると嬉しいです。



さく しゅうきのうぎょうけんきゅうきょうぎかい
佐久市有機農業研究協議会
うすだがっこうきゅうしょくおうえんだん
(臼田学校給食応援団)

い て のうじょうちょう
井出 農場長

しんがた かんせんしゅう てあら しょうどく
新型コロナウイルス感染症にかからないよう、こまめに手洗い・消毒をして、



がっこうきゅうしょくおうえんだんいん ひと おち きゅうしょく
学校給食応援団員をはじめ、たくさんの人の思いが詰まった給食をいただきます！

農業体験レポート

＜白田小学校3年生＞さつまいもとねぎを収穫したよ！

さつまいも収穫（10月20日）



佐久市有機農業研究協議会の畑で、さつまいも（紅はるか）を収穫しました。そこで働く白田小学校給食応援団員の井出さんに教わりながら、さつまいもを傷つけないように気を付けて掘りました。今年は天気の良い日が多く、いつもより大きなさつまいもがたくさん収穫できました。穫れたさつまいもは、ダブルポテトサラダになって、給食に使われました。

ねぎ収穫（12月13日）



さつまいもと同じ畑で、ねぎ（ホワイトスター）を収穫しました。この日は雨が降っていてとても寒い日でしたが、泥だらけになりながら一生懸命取り組みました。抜きづらものは、みんなで協力しながら収穫し、たくさんのねぎが穫れました。ねぎはいろいろな料理に使いやすい野菜なので、お煮かけうどん汁など様々な給食に使われてみんなのもとに届きました。

＜浅科小学校＞さつまいもと大根を収穫したよ！

＜1年生＞さつまいも収穫（10月26日）



浅科小学校の畑で、6月に苗植えをしたさつまいも（紅はるか）を収穫しました。土が硬くてうまく掘れないところは、浅科小学校給食応援団員に手伝ってもらいながらみんなで協力し、たくさん収穫することができました。苗から育ててきたので、さつまいもがどうやって成長するのか学ぶことができました。収穫したさつまいもは焼き芋にして食べました。

＜3年生＞大根収穫（12月14日）



浅科小学校給食応援団の浅村団長の畑で、大根（聖護院大根）を収穫しました。この大根はみんなが普段食べている長い大根とは違い、丸い形をした京都の大根で、初めて見る形の大根にみんな驚いていました。今年はとても大きく成長し、みんなの顔くらいある大きな大根が収穫できました。とれた大根は、柚子香和（サラダ）として給食のメニューになりました。

学校給食の思い出



栄養士 小宮山 侑香 先生
（学校給食望月センター）

小学校、中学校ともに自校給食でした。小学校の頃「世界の料理週間」というものがあり、アメリカのメニューでハンバーガー、インドのメニューの時はカレーとナンができました。ナンを食べるのは給食が初めてで、おいしくてワクワクしたのを覚えています。それから、こっそり揚げパンを残して、帰り道に友達と食べたのもいい思い出です。おいしい給食を食べるだけで幸せな気持ちになれるので、大人になった今でも給食は大好きです。応援団さんや調理員さんをはじめ、給食に携わってくれている全ての方々と協力をして、みなさんにとって、ワクワクしたり楽しみになるような給食を作れるように頑張ります！